



2年半ぶりに対面で 2022年度前期定例文連総会を開催しました

「サークル補助金増額」「改憲反対」などを課題とする 2022年度後期の活動方針を確立！

私たち文化団体連合会は、7月6日、学生会館において、2022年度前期定例文連総会を開催しました。この場で、今年度前期の文化・サークル活動が切り拓いた地平を確認するとともに、「サークル補助金増額」「改憲反対」を課題とする常任委員会提出の議案を賛成10の満場一致で採決し、昨年度の決算と今年度の予算を承認しました。

3年ぶりに対面での新歓活動を実現！

本総会において、議案をめぐり4点にわたって活発な討論がおこなわれました。まず1点目に、3年ぶりに対面での新歓活動を実現し、多くの新入生を獲得するとともに、コロナ・パンデミック以後2年間の地道な活動で蓄えてきた力を発揮し、有観客公演も活発に実現してきた・前期の文化・サークル活動の意義について全体で噛みしめました。このような地平を、私たち文連加盟サークルは団結して、対面での新歓活動の実施や、有観客公演の人数制限の緩和をかちとることで切り拓いてきたのです。加えて、現サークル幹事の多くが、自らも対面での新歓活動の経験がないなかで、私たち文連加盟サークルは、「新歓活動を成功させる文連の会」を結成して新歓対策会合を開いたり、「新歓がんばろう！ 文連通信」を発行したりして、相互に協力してきました。こうした加盟サークル間の力を合わせた取り組みの意義を全体で確認しました。

サークル補助金の大幅増額をめぐり活発に 討論！

続いて2点目に、昨今の物価高騰にたいするサークル補助金の大幅増額について活発な意見が交わされました。サークル幹事からは、物価高騰の



授業開講日の4/5、サークルの宣伝活動で
活気あふれる大隈銅像前

もとで、新入生に貸し出す楽器の購入資金の捻出に苦労している、ショーの会場代を賄うために部員の負担に全面的に頼らざるをえない、舞台製作に必要な木材の値段が三倍になったといった声が次々にあがりました。このような現状を打開するために、私たちは、実に20年にわたって据え置かれている補助金上限額30万円的大幅増額をかちとることを意思一致しました。

サークル活動の経験・技術の継承について議論が白熱！

さらに3点目として、コロナ・パンデミック以後に入学した世代がサークル幹事を務める今年度、サークル活動の経験や技術をいかに継承していくかについて議論が白熱しました。サークル幹事からは、経験豊かな先輩の力を借りながら、実際に対面での活動や有観客公演の場数を踏むことで、想定外の事態への対応など言葉では伝わりにくいところも含めて引き継ぐように創意工夫していることが紹介されました。出席したサークル幹事は、加盟サークルが共通して直面している課題を、各サークルの取り組みを共有しながら、ともに協力して解決していく思いを一つにしました。

「ロシアのウクライナ侵略反対」「改憲反対」の声あがる！

討論の4点目として、サークルから「ロシアのウクライナ侵略反対」「憲法改悪反対」の声をあげていこうと常任委員会が呼びかけ、これに応じてサークル幹事から、ロシアのウクライナ侵略に乗じて岸田政権が「言論・表現の自由」や「平和主義」をうたった現行憲法を改悪しようとしていることに、文連として反対することの重要性を訴える声があがりました。自らのサークルでの研究成果を基礎とした危機感溢れる発言に、他のサークル幹事も耳を傾けじっと聞き入りました。

最後にいま全国の大学で自治・サークル活動への規制が強まっていることにたいし、自治会や文連を主体として反対している全国の学生と連帯し、ここ早稲田でもサークルの団結の拠点である文連をさらに強化していくべきことを全体で確認し、議案をめぐる討論は締めくくられました。文連加盟サークルは、本総会で確立した方針にのっとり、今夏・今秋も早稲田サークル文化をさらに創造的に発展させる出発点を確固として築いたのです。文連加盟サークルのみなさん！ 私たちはさらに団結を固めて、早稲田文化・サークル活動をより豊かにより力強く前に進めていきましょう！